

かつさ花火大会

8月16日(土) 午後8時30分～9時
加津佐前浜海水浴場 ※荒天時：翌日開催
☎ かつさ花火大会実行委員会 ☎87-2128

水中花火、打ち上げ花火など約2,100発の花火が夜空を彩ります。1尺玉の打ち上げ花火は迫力満点。浜辺からの花火見物がおすすめです。

南島原の夜空を彩る 光と音のカーニバル

生き生きサマーフェスタ in ぶつ

8月16日(土) 午後4時～9時 布津こんぴら公園
※荒天時：世紀の泉に変更
☎ ぶつ祭り実行委員会 ☎090-9722-9413

市内各地の和太鼓集団がこんぴら公園に集結し、勇壮な演奏による暑気払い・邪気払いが行われ、会場は盛り上がりを見せます。帰省客も楽しめる『ふるさと』の夏祭りです。

●イベント
太鼓演奏、ゴーヤ茶ふるまい、大道芸ショー、島原手延べそうめんの試食、南島原を知っとるね!?!×クイズ大会、サマージャンボ抽選会など



●イベント
島原手延べそうめん無料試食
島原半島はしり蛸のつかみ取り
有中ソーラン節、翔南高校プラスバンド、精霊流し、花火など



ありえ浜んこら祭

8月18日(日) 午前11時～午後10時
マリンパークありえ ※荒天時：イベント中止・花火大会は翌日開催
☎ ありえ浜んこら祭実行委員会 ☎82-3130

「浜んこら」とは、浜辺という意味の方言。祭りでは南島原市特産のそうめんの試食や砂浜でのソーラン節など盛りだくさんのイベントを開催。祭りの終盤には花火が打ち上げられ、フィナーレには大迫力の2尺玉の大花火が夏の夜空を彩ります。その他、精霊灯の明かりがビーチを幻想的に演出します。



400年前のセミナリヨ授業を体験

7月7日と8日の2日間、市内の中学生29人が、約400年前のセミナリヨ授業を体験しました。
今回で8回目となる授業再現では、当時の日課表を参考に行われ、1日目は、願心寺(北有馬町)でセミナリヨの授業を体験し、夕食には、南蛮料理が提供されました。
2日目は、天正遣欧少年使節に関する著書「マルガリータ」で第17回松本清張賞を受賞した作家・村木嵐さんの講話や、原城跡を実際に歩き勉強しました。
今回の授業に参加した中学生のうち、4人を平成遣欧少年使節としてイタリアへ派遣します。



深江消商会が 登下校用腕章を寄贈

6月28日、市消防団深江地区と市商工会青年部深江支部で組織する、深江消商会(会長：吉田幸一郎深江地区団長)が、深江町内の小学校3校へ通学用の腕章56枚を寄付しました。
消商会では、環境美化の一環として空き缶を回収し、その売却金を原資として腕章を作成しています。子どもたちが腕章を着用し、登下校することで、交通事故の防止と、環境美化などの地域貢献活動への関心を持ってもらうことを目的としています。
腕章を受け取った児童代表の水田悠樹くん(深江小学校6年)は、「新しい腕章をありがとうございます。大切に使用したいと思います。そして、登下校時には事故に遭わないように注意します」とお礼の言葉を述べました。

Focus in 南島原 まちの話題



綱引き大会で熱戦

6月24日、深江体育館で「第13回南島原市綱引き大会」を開催しました。
今回の大会には、小学生の部や一般の部などに29チーム、総勢300人の参加がありました。
各試合とも熱戦が繰り広げられ、選手も応援も力が入り、会場は大いに盛り上がりました。



深江ブルプロと地元小学生が アマモの種を採取

6月13日、深江町の漁業者などで組織される「深江ブループロジェクト活動組織」が、地元の深江小学校5年生児童33人と深江船川海岸でアマモの種を採取しました。
同組織は、小魚の住み家となるアマモ場の再生・回復のために「アマモすくすくプロジェクト」を立ち上げ、精力的に活動しています。
子どもたちは、深江ブループロジェクト活動組織の人たちに指導を受けながら、熱心にアマモの種を採取していました。今回、採取したアマモの種は大切に保管され、10月頃に植え付けを行う予定です。